

海洋調査技術学会

創立 30 周年記念研究発表会 プログラム

- 期 間 2018 年 11 月 28 日（水）～ 11 月 29 日（木）

- 場 所 東京海洋大学越中島会館 2F 大講堂
〒135-8533 東京都江東区越中島 2-1-6

- 参加費 無料
講演要旨集 1,000 円（会員） 1,500 円（非会員）

- 主 催 海洋調査技術学会
- 共 催 海上保安庁海洋情報部
- 協 賛 海中海底工学フォーラム、（NPO 法人）海洋音響学会、（一社）海洋調査協会、（一社）可視化情報学会、（一社）資源・素材学会、石油技術協会、地球電磁気・地球惑星圏学会、（公社）土木学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、（NPO 法人）日本海洋工学会、（NPO 法人）日本火山学会、（公社）日本航海学会、（公社）日本地震学会、（一社）日本写真測量学会、（公社）日本水産学会、日本水産工学会、（公社）日本船舶海洋工学会、（一社）日本リモートセンシング学会、（公社）物理探査学会（50 音順）

第1日 11月28日(水)		
開会挨拶	道田 豊 会長	10:00~10:05
招待講演	司会 久保田 隆二(企画委員長) 『これからの海洋調査技術に期待されるもの』 「陸上探査に匹敵する海底鉱物資源探査システムは開発されるか？」 ー将来の金属資源需要を満たす海底資源開発の実現に向けてー 浦辺 徹郎(東京大学名誉教授、SIP「次世代海洋資源調査技術」PD) 「海底における地震・津波・地殻変動のモニタリングー海底ケーブルネットワークー」 篠原 雅尚(東京大学地震研究所教授)	10:05~11:25
海洋調査・測定機器展示案内		11:25~12:00
昼 食		
創立30周年記念式典	司会 石井 春雄(総務委員長) 開会挨拶 道田 豊 会長 祝 辞 山野 澄雄(株式会社フグロジャパン代表取締役社長) 日比谷紀之(日本海洋学会会長) 平 朝彦(海洋研究開発機構理事長) 加藤 幸弘(海上保安庁海洋情報部長) 表彰状 ○感謝状	13:00~13:40
特別セッション	司会 後藤 浩一(環境総合テクノス) 『海の調査の仕事』 登壇者 緋田 峻一(深田サルベージ建設:海底調査プラットフォームの運用) 立花 冬威(川崎地質:海底の探査) 平尾 春華(海上技術安全研究所:水中ロボットの研究) 豊島 雄樹(キュー・アイ:海洋計測機器開発) 永沼 元(環境総合テクノス:海洋環境調査) 住吉 昌直(海上保安庁海洋情報部:海洋測量)	13:45~14:50
特別講演	司会 小田巻 実(企画委員) 「航海術の昔・現在・未来ー地文・天文航法からGPS・ECDIS・AISへー」 今津 隼馬(東京海洋大学名誉教授)	15:00~16:00
記念講演	司会 道田 豊(会長) 「幕末の海防」 作家 植松 三十里 氏	16:00~17:00
創立30周年記念祝賀会	会場 アヴァンセリアン東京 東京都江東区豊洲3-2-3 豊洲キュービックガーデン1F 会場アクセスおよび祝賀会案内ページをご参照ください	18:00~20:00

第2日 11月29日(木)		
研究成果発表(1)	座長 松本 良浩(海洋情報部)	9:30~11:10
01	新しい海底生物相調査ツール SSS (Speedy Sea Scanner) の紹介 ○阪本真吾・松本義徳・杉本裕介・小川年弘・杉本憲一(ウインドーネットワーク)・水野勝紀(東大新領域)	
02	パラメトリックサブボトムプロファイアのマイクロバブル充滿水中における透過と反射に関する研究 ○村越誠・浅田昭(東京大学生産技術研究所)	
03	マルチビーム音響測深装置のビーム・フォーミングと海底の位相検出 ○中野健一	
04	港湾施設におけるアセットマネジメント実現に向けての取組 浅田昭(東京大学生産技術研究所)・原口強(大阪市立大学大学院)・○下田孝行・川本 豪・米塚昇司(株式会社アーク・ジオ・システム)	
05	ナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)のあゆみ 川口浩二(PARI)・○永井紀彦(ECOH)・仲井圭二(ECOH)	
ポスター説明/ポスターセッションコアタイム		11:15~12:00
昼 食		
通常総会		13:00~14:00
研究成果発表(2)	座長 海宝 由佳(海洋研究開発機構)	14:10~15:10
06	海底重力計の開発と海底熱水鉱床探査への適用 ○押田 淳(川崎地質)	
07	航走観測を主体とした熱水鉱床探査(その4)ー久米島西方沖における電気および重力探査ー ○久保田隆二 ^{1),2)} ・石川秀浩 ^{1),3)} ・押田淳 ^{1),2)} ・松田健也 ^{1),4)} ・岩本久則 ⁵⁾ 1)海洋調査協会, 2)川崎地質, 3)三井金属資源開発, 4)国際航業, 5)海洋研究開発機構	
08	AUVを用いた物理探査 ○笠谷貴史(海洋研究開発機構)・川田佳史(東北大学/海洋研究開発機構)・岩本久則・百留忠洋(海洋研究開発機構)	
休 憩		
研究成果発表会(3)	座長 佐藤 幹夫(産業技術総合研究所)	15:20~16:20
09	四国沖・日向灘の泥火山探査航海(YK18-05)報告と日本に産する泥火山活動規定要因についての一考察 ○浅田美穂(JSPS 特別研究員/JAMSTEC)・岩井雅夫(高知大学)・川村喜一郎・久高大志(山口大学)・蔣景彩・権 容大(徳島大学)・福地里菜(東京大学大気海洋研所)	
10	海洋データの利用促進と日本海洋データセンター ○馬場典夫・黒川隆司・向仲英司・愛瀬有輝・鎌田ゆうな・矢吹哲一郎(海上保安庁海洋情報部(日本海洋データセンター))	
11	SIP 海のジパング計画ー海洋調査協会が取り組む環境プロトコルー ○後藤浩一 ¹⁾²⁾ ・福原達雄 ¹⁾²⁾ ・山本啓之 ³⁾ ・古島靖夫 ³⁾ ・近藤俊祐 ²⁾³⁾ ・高島創太郎 ¹⁾⁴⁾ ・松田健也 ¹⁾ ・久保田隆二 ¹⁾⁶⁾ 1)海洋調査協会, 2)環境総合テクノス, 3)海洋研究開発機構, 4)いであ, 5)国際航業, 6)川崎地質	
若手優秀発表賞 審査結果発表および授与式		16:25~16:30
閉会挨拶 植木 俊明 副会長		16:30~16:40

ポスターセッション 会場 越中島会館 2FSCS 多目的教室

11月28日(水) 10:00~17:00、29日(木) 9:30~16:00

ポスター説明/コアタイム 11月29日 11:15~12:00

12 歴史的イベントと潮汐予報技術 “Power of The Sea” by Bruce Parker の紹介

○小田巻 実

13 八丈島南西沖で認められたカルデラの地形的特徴

○藤巻三樹雄・坂本泉・八束翔・東海大学望星丸 18TBM 海洋実習乗船者一同 (東海大学海洋学部)

14 ホバリング型 AUV「ほぼりん」による、海底掘削前の海底環境調査

○高島創太郎¹⁾²⁾・大村寿明¹⁾³⁾・白石和広¹⁾⁴⁾・北條優¹⁾⁴⁾・佐藤弘康¹⁾⁵⁾・夫津木亮介¹⁾⁶⁾・高月直樹¹⁾²⁾・松田健也¹⁾⁷⁾・後藤浩一¹⁾⁸⁾・久保田隆二¹⁾⁹⁾・篠野雅彦¹⁾¹⁰⁾・瀬田剛広¹⁾¹⁰⁾・岡本章裕¹⁾¹⁰⁾・稲葉祥梧¹⁾⁹⁾・JA18-05 航海海洋調査協会乗船研究員¹⁾

1) 海洋調査協会, 2) いであ, 3) 海洋エンジニアリング, 4) 三洋テクノマリン, 5) マリン・ワーク・ジャパン, 6) パスコ,

7) 国際航業, 8) 環境総合テクノス, 9) 川崎地質, 10) 海上技術安全研究所

15 統合海洋資源調査システムの実証航海-平成 30 年度概査~準精査(JA18-01~04) 研究航海の速報-

○松田健也¹⁾²⁾・押田淳¹⁾⁴⁾・高橋 実¹⁾³⁾・久保田隆二¹⁾⁴⁾・JA18-01~04 航海海洋調査協会乗船研究員¹⁾

1) 海洋調査協会, 2) 国際航業, 3) 海洋エンジニアリング, 4) 川崎地質

16 日本海洋学会による海洋観測ガイドラインの編集・発行

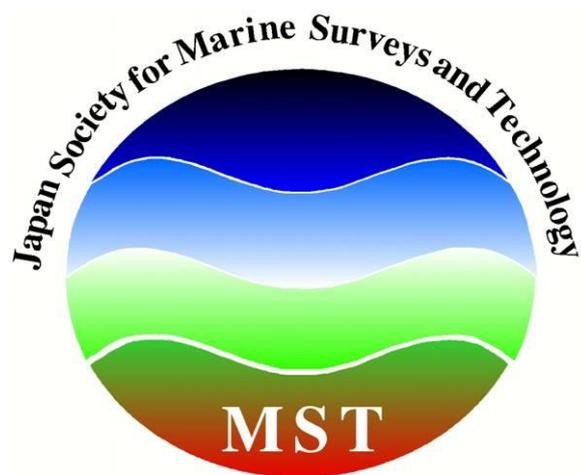
○小笠恒夫(水研機構)・青山道夫(福島大/JAMSTEC)・内田裕・河野健(JAMSTEC)・太田秀和(KANSO テクノス)・小川浩史・小畑元・斎藤宏明(東大大海研)・成田尚史(東海大)・永井直樹・中野俊也・宮尾孝(気象庁)

海洋調査・測定機器展示 会場 越中島会館 2FSCS 多目的教室

11月28日(水) 10:00~17:00、29日(木) 9:30~16:00

出展企業一覧 (50 音順)

- ・株式会社海洋先端技術研究所
- ・JFE アドバンテックス株式会社
- ・株式会社昌新
- ・株式会社鶴見精機
- ・株式会社東陽テクニカ
- ・日本海洋株式会社
- ・マリメックス・ジャパン株式会社



事務局：海洋調査技術学会企画委員会

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル9階

株式会社毎日学術フォーラム内

海洋調査技術学会事務局

Tel 03-6267-4550 Fax 03-6267-4555

URL : <http://jsmst.org/>